

# 一羊会だより

## 発 行

社会福祉法人一羊会

事務局

〒663-8241

西宮市津門大塚町1-47

電話 (0798) 31-1760

FAX (0798) 31-1763

## 口座名義

一羊会後援会

銀行 三井住友銀行

西宮支店

普通 3007061

郵便振替口座

01190-8-66322



写真：神田浩平

あとりますずかけは今年も 8/1～8/6 の期間、あとりえ内で「夏の近づく 真夏のすずかけ雑貨展」を開催しました。「夏の近づく」は武庫川すずかけ作業所の仁田葉月さんがあとりえで歌っていた & 紙に書いていた歌詞の一部分から使わせてもらいました。期間中はあとりえ内に T シャツやクッキーなど一羊会の自主製品が一同に並びました。

## ご 挨拶



理事長 三 浦 昇

去る 3 月に発生した一羊会後援会での後援会費の使途不明金事件では、一羊会を支援くださっている後援会の皆様や関係機関、団体、個人の皆様には大変ご迷惑をおかけしています事を心よりお詫び申し上げます。

これにより長年積み上げてきた一羊会への信頼も大きく揺らぐ事態に陥り、私としても慙愧に堪えない日々が続きました。

しかしながら一般の風評とは別にこれまで一緒に運動を進めてきた西宮市手をつなぐ育成会の会員の皆さんをはじめ、後援会の皆さんからの励ましもいただき、落ち込んだ気持ちがどれだけ救われたことかしれません。

このような状況において、理事長の再任を受けました。この事案の終息に向けて引き続き取り組んでまいります。

今は、一羊会に対する風評を払拭し、これまでの一羊会イメージを取り戻し更に一羊会の取り組みに理解をいただけるよう、これまで以上に頑張っていく事が大切なことだと思っています。挫折をバネにして更にたくましく取り組んでいきたいと考えています。

しょうがいがある本人を中心にして西宮の地で豊かに働き、暮らしていく事をめざす基本理念は変わるものではありません。内部の管理体制を見直し主体的自覚的に取り組んでまいります。

今回の件で一羊会が後ずさりして後ろ向きにならないよう職員集団をはじめ、新しく就任いただいた評議員、理事・監事の皆さんとより良い事業の取り組みに努力してまいります。

厚かましいようですが、これまでと変わらぬ、皆様のご理解・ご支援をよろしくお願い致します。

## 評議員名簿

任期 自 2017 年 4 月 1 日  
至 2021 年 6 月定時評議員会終結時  
(2020 年度決算にかかる評議員会終結時)

氏名 (50 音順)	経 歴 ・ 現 職
太田 博	会社代表取締役 西宮市社会福祉事業団理事
岡崎 公典	夙川学院短期大学学長 児童教育学科教授

篠原 正寛	西宮市市議会議員
中谷 美津子	(一般社団) 西宮市手をつなぐ育成会副会長
日高 昭夫	福祉ネット北六甲事務局長 西宮市社協北六甲台分区長
藤井 圭子	春風校区民生委員・児童委員 常務
本田 洋子	(一般社団) 西宮市手をつなぐ育成会副会長
宮脇 葉子	(一般社団) 西宮市手をつなぐ育成会副会長
諸富 真一	会社取締役社長 西宮ふれあいネットワーク事務局長

## 新評議員就任挨拶



一羊会評議員 諸 富 真 一

この度、三浦理事長よりご推薦を受けまして、一羊会の評議員に選任されました大喜建設株式会社代表取締役の諸富でございます。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

一羊会とは、障がい者である私の弟が以前お世話になっていた事、そして私の所属する心身知的障がい者自立支援団体「西宮ふれあいネットワーク」のボランティア活動等で三浦理事長と関わっていた事でご縁があり、今回のお話を頂いたものと思っております。

これまでは後援会として協賛支援してまいりましたが、今回新たに評議員に選任されたからには、企業経営者としての観点より事業運営に際しての改善提案などが出来ればと思っております。

今後も一羊会の基本理念をしっかりと踏まえ、関係者の皆様と共に一羊会が社会福祉法人としてより安定的に発展していけるよう微力ながら取り組んでまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 理事会役員名簿

任期 自 2017 年 6 月 26 日  
至 2019 年度定時評議員会終了時

役 名	氏 名	経 歴 ・ 現 職
理事長	三浦 昇	一羊会本部長
理事	古川 勝	一羊会副本部長
理事	栗林 和徳	一羊会副本部長
理事	山岡 賢治	一羊園管理者
理事	近藤 眞由美	西宮市手をつなぐ育成会会長

理事	森田 順	会社顧問 元西宮市都市局長
理事	山崎 玲輔	特定非営利活動法人 兵庫セルフセンター 理事長
監事	谷 寿夫	(社福) 神戸聖隷福祉事業団 元施設長
監事	永岡 稔	税理士
監事	岡本 征	(社福) 光耀会 理事長

## 新理事就任挨拶



特定非営利活動法人 兵庫セルフセンター  
理事長 山崎 玲 輔

学生時代、東京で作業所作りに  
かかわり、事情があつて、滋賀に  
戻る筈が乗り過ぎて芦屋の地に  
て児童指導員になりました。最初に担任した児童の  
進路で訪れた門戸厄神の作業所。同じ“匂い”を感じたことを思い出します。アフロヘアーの同じ歳の  
三浦さんがいた。それ以来「すずかけ」は、僕の中  
で確実に意識の対象となりました。こんな書き出し  
になりましたが、今回一羊会の理事に選任されまし  
た山崎です。児童から成人施設に移り、大震災後は  
通所授産も掛け持つことになり、佐久間先生の行動  
療法の勉強会や、西宮の作業所連絡会等で「すずかけ」  
に出入りさせていただきました。懐かしい「すずかけ」  
に、こんな形で戻ってこれたことは感慨深いものが  
あります。障害がある人の「働く」「暮す」に寄り添  
いながら、彼らの行動変容を果たしていくのが僕等  
の使命であることを信じ、そんな職員ひとり一人の  
やりがいがある法人運営に、関わらせていただくこ  
とに感謝いたします。

内部統制システムや危機管理を強化した取り組みを各事業所  
が進めました。特に神奈川の事件を受け、各事業所の防犯対  
策については早急な見直しと対応を実施し、その状況を本部  
で集約いたしました。

諸々の取組がある中でいくつかの課題を残しましたが、次  
年度引き続き進めていく内容と確認しました。

事業展開は、北部展開の実現を目標にあげ、国庫補助金の  
申請をあげていましたが、7 月に採択されなかった報告を西  
宮市から受けたことにより延期しました。

南部ホームについては、理解ある地主のご厚意の元、オー  
ダーメイドの賃貸物件の話を進めておりましたが、資金計画  
との兼ね合いで断念することになりました。

すずかけ作業所の移転については、現在の土地からの立ち  
退きが計画のベースにあります。市との移転地の交渉、設計  
事務所の選定等を行い、今年度さらに具体的な内容を検討し  
ていくことになりました。事業展開については、資金面、人  
材面とも課題を残した 1 年でありました。法人の規模も大き  
くなったことや、利用者の加齢による職員加配など、実施事  
業の職員の必要数が増えており、人材確保は特に大きな課題  
となりました。

長年の懸案事項であった、女性管理者の配置については、  
2 名の女性主任を管理者として登用する方向で話を進めるこ  
とができ、実現に至りました。

法人本部体制については、事業との兼任部長が多く、本部に  
専任で配置されている部長が少ないという状況がありました。

年度末に近づき本部専任の副本部長が、突然、不在となり  
ました。同副本部長は一羊会後援会の会計を担当しておりま  
したが、その会計において使途不明金という問題が発生しま  
した。一羊会においては緊急危機管理対策委員会を発足させ、  
同委員会において副本部長問題について対応し、急遽、本部  
体制の見直しも検討し、緊急体制を構築するとともに、今年  
度体制についても検討し、本部体制の再編を行いました。

1 年を振り返って、コンプライアンス、ガバナンス、リス  
クマネジメントについて、課題が多く確認されたことを報告  
させていただきます。

## 2. 報 告

### (1) 経営管理

#### ① 組織管理

本部体制の強化を実施しましたが、事業所兼任の部長も多  
く、通常法人運営に専任でかかわる管理職が常勤 2 名、非常  
勤 1 名という体制で業務を遂行してきました。今年度に向け  
ては、課長を 2 名新たに登用し、部長の兼務体制の解消の準  
備を進めてきました。しかしながら本部自体が手狭な為、本  
部で実務にあたるのが難しい状況でした。

本部から各事業所を巡回して把握に努める計画もあげてい  
ましたが、実施できませんでした。今年度を迎えるにあたり、  
本部機能の充実を確認し、今年度、本部専任部長の増員と本  
部拡大の準備を進めていくことを確認しました。

## 2016年度 一羊会事業報告

### 1. 総 括

2017 年度 4 月からの社会福祉法人制度改革についての「社  
会福祉法等の一部を改正する法律」の実施に向けての 1 年  
となりました。上半期は法改正の具体的内容についての情  
報収集と定款変更の準備をしました。下半期は評議員専任  
にむけての準備を行い、3 月 8 日の評議員選任・解任委員会  
において、理事会から推薦した 9 名の評議員の承認を無事  
得ることができました。

事業については、監事並びに公認会計士の指導を受けて、



人事に関しては 2017 年度、課長 2 名、主任 2 名が昇格することとなりました。

採用については、法人主催の就職説明会の回数を増やしました。昨年から実施した説明会での DVD やタブレットでのプレゼンテーションは内容も充実させ、説明会に参加者の関心を高める効果を発揮しています。

内定者については夏の早い時期から、事業所の見学や先輩職員の話聞く場の設定、研修などを行い、法人の理解を深めるとともに、内定者の希望や適性なども把握しながら 4 月を迎えることができました。2017 年度も引き続き、採用活動には力を入れて取り組んでいきます。

#### ＜採用に関わる活動＞

福祉就職フェアへの参加 4 回

法人就職説明会 12 回

内定者懇談会・研修会 7 回

採用状況は表の通りとなっておりますが、表以外に 2016 年度途中採用の正規職員が 4 名（男性 4）、定年退職再雇用者が 1 名となっております。

	正規職員			嘱託職員			非常勤		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
2017 年度採用	4	6	10	0	0	0	0	1	1
2016 年度採用	4	3	7	1	3	4	2	8	10

人材定着については、2017 年度の 4 月にベースアップを含めた昇給を実施しました。併せて、年間休日日数を 93 日から 95 日と増やしました。職員の処遇向上については引き続き取り組んでいきます。

#### ② 財務管理

山口町における北部事業展開、及びすずかけ作業所建替を念頭においた資金作りを目標とし、すずかけ建替会計への繰入を 2550 万、施設整備積立 5600 万を確保することが出来ました。すずかけ建替会計には 2016 年度末で約 1 億 5270 万の資金を確保しています。但し北部事業展開が延期となり、当面はすずかけ作業所建替に資金を集中させる方向性となったことで、建替後の規模や機能の見直し、各事業所の将来的な大規模修繕計画等も見据えた上で、目標額や借入金等について改めて資金計画を見直すこととなりました。

また、経理処理・ガバナンスの強化に向け、公認会計士による調査を 10 月～2 月にかけて実施。年度末の報告にて指導・助言を頂きました。今後の業務改善に活かしていきます。

#### ③ サービス管理

一羊会では、質の高い円滑なサービス提供を進めるために設置している部会で、下記のとおり、それぞれの課題や対応を検討し事業所全体に返していくことにより、サービスの質確保並びに向上に努めました。

#### ㊦ サービス向上部会

各事業所からサービス管理責任者が 1 名ずつ参加しており、利用者の抱える困難な課題を解決してきたプロセスを、事例検討という形式で知識の積み重ねをしてきました。また、法人内コンサルテーションを活用し、事業所の支援場面での OJT（現場での助言を中心とした研修方法）を実施しました。

#### ㊧ リスクマネジメント部会

「マニュアル見直し・更新、啓発」、「サービス評価策定・実施」、「虐待防止に関するマニュアルの整理」、「すずかけ労働センター第三者評価」に担当を振り、毎月見直しや進捗確認を行いました。

また、応急救護研修と消火・避難訓練の実施状況を毎月確認することで、実施に対して意識の向上を図るとともに、他事業所の実施方法等を共有することで、各事業所の実施方法の改善につなげることを意識しました。

事故報告検討分科会においては、引き続き事故要因分析を実施しました。要因分析→再発防止策の流れを意識することで、頻度の高い事故や重大事故に対して見えにくかった再発防止策を見出すことができると考え、この手法をできるだけ多くの職員に体験してもらえよう、事故当事職員と分科会員で分析をする機会を設定しました。

メンタルヘルスケアについて法人の中で仕組みを作るために、主任長以上のラインケア研修（昨年度）、セルフケア研修を実施し、現場職員向けのセルフケア研修を実施しました。

#### ㊨ 就労支援部会

就労支援システムと作業開発という 2 つのテーマで行ないました。

就労支援システムについては、当初計画に記載していたすずかけ作業所の建替え時等の法人「就労」も視野に入れ、システム化の話し合いを行ってきました。その中で、利用者の働き方といった内容の細かな部分での話に時間を費やすこともありましたが、法人の就労継続支援事業 B 型の基準を工賃 3 万円以上に設定する提言に向けての話し合いを行いました。

作業開発の方は、様々な作業を開発してより多くの利用者が関わられるようにする、という目的で検討を行いましたが、形にするまでには至りませんでした。課題としては、就労支援部会が各事業所に共通の提案をする形になり、それぞれのニーズにそぐわず、現場で臨場感が持ちにくかったからだと思います。

品質管理においては、全事業所共通作業の除草作業については作成をしましたが、その他作業については、上記 2 つを中心に行ったため議論も少なくなりました。

#### ㊩ 生活支援部会

高齢化を大きなテーマとして、法人内の高齢化についての議論を進めてきました。40 歳以上の利用者には、個別支

援計画作成時に高齢化チェックシートを使い、高齢化の度合いに応じて計画に反映するシステムを作りました。高齢の方の食事に関する研究も行い、各事業所に情報提供をしました。

生活支援部会からの提案により、＜一羊会の高齢化対応に関する方針＞が確認されました。

④ 人材育成部会

年度初めの法人全体研修、新任研修、テーマ別（階層別）研修など実施しました。全体研修では、「支援を創造する」と題して法人内の 5 事業所の活動報告をしました。それを通して利用者の想いを創造し、支援を創造していくことをテーマとして法人職員全体で考えました。

＜部会活動報告＞ 2016 年 4 月～ 2017 年 3 月

部 会 等	会 議 の 開 催
サービス向上部会	定例会 12 回開催 法人内コンサルテーション全体会 2 回開催
リスクマネジメント部会	定例会 12 回開催 事故報告検討分科会 3 回開催 セルフケア研修 4 回開催（各自 1 回の参加）
就労支援部会	定例会 7 回開催
生活支援部会	定例会 8 回開催 （内 1 回はオープン部会）
人材育成部会	定例会 10 回開催 全体研修 1 回 新任研修 4 回 支援者研修 1 回
部会長会議	定例会 3 回開催

（2）事業展開

一羊会で購入した山口町の土地については、グループホーム、日中活動棟の建設に向けて準備を進め、開発申請の準備、グループホーム建築の補助金申請を進めてきましたが、補助金申請が採択されませんでした。その為、2017 年度申請で再申請する段取りで進めてきましたが、資金確保が思うように進まず、延期となりました。

南部ホームについては、冒頭でも触れた通り、理解ある地主のご厚意の元、オーダーメイドの賃貸物件の話を進めておりましたが、同じく資金計画との兼ね合いで断念することになりました。

（3）市への要望書の提出

昨年度は市への要望書の提出を行いました。7 月、市長、福祉局長、他担当部長のいる場で一羊会からは理事長、部長から以下の要望をしました。

- 1. 利用者数、しょうがい特性に合わせた優先発注業務の増量・配慮
- 2. すずかけ作業所建替えに向けた配慮

以上 2 点要望書を提出しました。10月に市からの回答をいただきました。要望事項 1 については、障害者就労支援施設等が対応可能な業務がほぼ上限に達しており、新たな業務

の創出が難しい状況であるという回答をいただいております。

要望事項 2 については、市の方で検討を進めていただいているとの回答をいただきました。年度末まで福祉のまちづくり課との懇談を数回重ね、6 月頃に具体的な場所を確定できるというお話をいただけたので、年度末の 3 月にすずかけ移転建て替えの準備室を発足し、移転後のすずかけ作業所のコンセプト等、具体的検討に入りました。

（4）地域貢献活動

① 実践発表会の開催

例年通り、地域の皆様に一羊会の取り組みをより理解していただく事と同時に各事業所の実践を振り返るため、6 月に実践発表会を実施しました。

② 西宮市地域自立支援協議会への参画

西宮市自立支援協議会の各部会に代表職員を派遣し、障害福祉の推進に貢献していくことと同時に職員全体に対しては定期的に協議会でどのようなことが課題となっているのか等を報告しています。特に昨年度は第 5 期西宮市障害福祉計画（2018 年 4 月）の策定に向けて、アンケートへの提言等を含め、活発に動いた 1 年でした。

＜出席状況＞ 2016 年 4 月～ 2017 年 3 月

会 議 名	参加回数
自立支援協議会運営委員会	6 回
しごと部会	8 回
くらし部会	9 回
こども部会	9 回
地域移行部会	9 回
相談支援部会	12 回
北部地域連絡会	3 回

③ 関係団体との連携

例年通り、西宮市をはじめとして地域の障害福祉関係会議、兵庫県サービス管理責任者講習の講師、関係団体の会議・研修等に職員を派遣し連携を密にしてきました。

自立支援協議会以外にも、西宮市障害福祉計画策定委員会、西宮市施策推進懇談会、こども未来センター運営審議会、ジョブステーション西宮、西宮市児童通所支援連絡会にも委員等を派遣しています。

県下の団体では兵庫県知的障害者施設協会の役員、きょうされん兵庫支部、兵庫県社会就労センターに役員を派遣しました。

（5）アート活動の推進

「あとりえすずかけ」と「すずかけ絵画クラブ」の活動として、しょうがいのある人たちの芸術活動に取り組み、日本各地の展覧会や雑貨展で作品等を出品し、啓発に取り組みました。

① あとりえすずかけの雑貨展・展覧会など／

全 12 件 下記あとりえ主催

- ・ 7/26～7/30 あとりえずかけにおいて「あのきらきらの真夏のすずかけ雑貨展」
  - ・ 12/20～27 あとりえずかけにおいて「すずかけの間 その1【展示】」等
- ② すずかけ絵画クラブの展覧会 / 全 10 件
- ③ 研修 アールブリュットインフォメーション&サポートセンターにて実践報告
- 「作品の 2 次利用とその販売について」を発表
- ④ その他の活動
- アトリエ新聞の発行 (2 回) / あとりえ・絵画クラブ紹介チラシの作成
- 一羊園での出張あとりえ／職員向けのワークショップを開催。

(6) 地域イベントへの参加

一羊会後援会事業への協力として、十日戎、にしのみや市民まつり、ふれあいネットワークフェスティバル、輪イ和イひろば等、しょうがいがある人たちへの理解を深める啓発イベント等へ参加しました。

(7) 年間活動報告

月	内	容
4 月	2 日	辞令交付式
	28 日	産業団地総会準備会
	30 日	監事監査（事業）
5 月	11 日	監事監査（会計）
	12 日	経営協総会
	23 日	理事会、評議員会
	25 日	育成会総会
	27 日	西宮浜産業団地総会
6 月	1 日	後援会総会
	10 日	実践発表会
7 月	1 日	理事会（理事長選任、新理事顔合せ会兼）
	15 日	市要望書提出（市長臨席）
	28 日	高等部卒業生受入れ説明会
8 月	9 日	西宮警察巡回強化依頼
	31 日	障害福祉施策推進懇談会
9 月	12 日	蒲生公認会計士 会計指導予備調査
	21 日	臨時理事会（セキュリティ対策・北部展開）
10 月	21～22 日	きょうされん全国大会（神戸）
	22 日	にしのみや市民祭り
	25 日	西宮市 要望書への回答懇談会
11 月	27 日	一羊会 40 周年感謝のつどい
12 月	2 日	理事会・評議員会
	3 日	正職員登用試験
	4 日	輪イ和イ広場
	28 日	年末挨拶回り

月	内	容
1 月	4 日	仕事始め 年始挨拶回り
	6 日	高齢者事業団「新年のつどい」
	7 日	県社協 新年福祉の集い
	9～11 日	十日戎募金
	18 日	青年会議所新年賀会
	23 日	蒲生公認会計士 会計調査
	28 日	法人新年会（関学会館）
	30 日	第 1 回すずかけ建替検討会
2 月	8 日	蒲生・丸岡会計 合同打合せ
	9 日	第 2 回すずかけ建替検討会
	14 日	第 3 回すずかけ建替検討会
	16 日	西宮ロータリークラブ スリーター贈呈式
	20 日	臨時理事会
3 月	8 日	評議員選任・解任委員会
	13 日	県指導監査（児童）
	27 日	理事会、評議員会

(8) 会 議

- 本部会議 11 回
- 管理者会議 8 回
- 部課長会議 6 回（部長・課長の合同会議）
- 将来構想推進会議 6 回
- 事務局会議 26 回

(9) 研修報告

月	内	容
4 月	2 日	職員全体研修
	13 日	社会福祉法人監査セミナー
5 月	30 日	西宮市監査説明会
8 月	3 日	社福制度改革説明会
	5 日	県社協会計研修
	25 日	TKC 改正社会福祉法セミナー
10 月	3～4 日	全社協人材マネジメント講座
	12 日	県社協労務管理研修
	21～22 日	きょうされん全国大会
11 月	2 日	育児・介護休業法改正説明会
	4 日	人事考課研修
	29 日	TKC 社福制度改革セミナー
	30 日	県社協財務管理研修
12 月	12 日	（社福）制度改革説明会（市・県合同）
2 月	2 日	（社福）充実財産算定セミナー
	3 日	障害者雇用納付金制度説明会
	9 日	県社協会計研修

2016年度 法人単位資金収支計算書

第一号第一様式  
(単位：円)

自 2016 年 4 月 1 日 至 2017 年 3 月 31 日

勘 定 科 目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A) - (B)	備 考
収 入	就労支援事業収入	128,502,054	132,936,258	-4,434,204	
	障害福祉サービス等事業収入	1,226,363,508	1,233,739,028	-7,375,520	
	経常経費寄附金収入	10,619,251	10,643,132	-23,881	
	受取利息配当金収入	45,254	52,655	-7,401	
	その他の収入	17,974,861	18,145,521	-170,660	
	事業活動収入計 (1)	1,383,504,928	1,395,516,594	-12,011,666	
支 出	人件費支出	848,983,192	847,107,670	1,875,522	
	事業費支出	128,273,885	126,281,072	1,992,813	
	事務費支出	142,812,856	143,904,787	-1,091,931	
	就労支援事業支出	130,097,995	133,581,395	-3,483,400	
	支払利息支出	164,000	164,583	-583	
	その他の支出	9,303,072	9,372,471	-69,399	
	事業活動支出計 (2)	1,259,635,000	1,260,411,978	-776,978	
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		123,869,928	135,104,616	-11,234,688	
収 入	施設整備等補助金収入	4,333,900	4,333,900	0	
	施設整備等寄附金収入	2,500,000	100,000	2,400,000	
	固定資産売却収入	896,110	946,110	-50,000	
	施設整備等収入計 (4)	7,730,010	5,380,010	2,350,000	
支 出	設備資金借入金元金償還支出	2,052,000	2,052,000	0	
	固定資産取得支出	11,217,318	11,049,580	167,738	
	施設整備等支出計 (5)	13,269,318	13,101,580	167,738	
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		-5,539,308	-7,721,570	2,182,262	
収 入	その他の活動による収入	8,135,573	8,135,573	0	
	その他の活動収入計 (7)	8,135,573	8,135,573	0	
支 出	積立資産支出	64,830,000	72,787,715	-7,957,715	
	退職給付引当資産支出	10,980,000	10,987,715	-7,715	
	施設整備等積立資産支出	48,000,000	56,000,000	-8,000,000	
	修繕費積立預金積立支出	3,000,000	3,000,000	0	
	工賃変動積立資産支出	2,850,000	2,800,000	50,000	
	その他の活動による支出	0	0	0	
	その他の活動支出計 (8)	64,830,000	72,787,715	-7,957,715	
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		-56,694,427	-64,652,142	7,957,715	
予備費支出 (10)		0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)		61,636,193	62,730,904	-1,094,711	

前期末支払資金残高 (12)	345,126,787	345,126,787	0
当期末支払資金残高 (11) + (12)	406,762,980	407,857,691	-1,094,711

夏の近づく 真夏のすずかけ雑貨展

(写真 表紙参照)

あとりえずすかけ 光 永 惟 行

あとりえに置いてある”たくみ人形”（森本拓己さんが絵を描いた商品）も「あつい…」とつぶやいているように見えます。そんな真夏に毎年おこなっている、あとりえ内での雑貨展も今年で4回目となりました。

期間中は一羊会の自主製品販売はもちろん、T シャツ制作のワークショップや、角谷祥子さんによる手描きうちわのデモンストレーション販売、ジョイント神田支援員が撮影と編集をおこなった小林隆哉さんと宿間谷憲江さんのドキュメンタリー上映会をおこないま

した。お越しいただいた皆様、ありがとうございました。

あとりえずすかけは今後も展示や雑貨展など、楽しい事をたくさんやっていきますので、機会あればひ足を運んでみてください。





● ● リレー式 ● ● ● 事業所紹介 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

## 「一羊園の今、そしてこれから」

一羊園 課長 山岡賢治

一羊園は、今から 40 年前に設立されました。開設当初から利用されている方も多く、当時 18 歳の方で考えても、現在 58 歳。実際、入所の方の平均年齢は 56.2 歳となっています。高齢化に伴い、一羊園での支援はどう変わってきたのか？少し紹介させていただきます。



▲ 園庭の改修を行いました。天気の良い日には、みんなでウォーキングができる散歩道も整備しました。

次に入浴について。写真は入浴用リフトです。身体機能の低下で浴槽へ浸かることが難しい方が増えてきたため、一昨年導入しました。現在8名の方が利用されています。このリフトのおかげで、車椅子の方でもゆっくり浴槽に浸かれるようになっています。

高齢者支援について、これまで必要な支援を柔軟に行い、時には立ち止まって整理をし、形を作ってきました。このプロセスを踏まえ、「高齢者の支援」として定着できたものもたくさんあります。



しかし医療面など、まだまだ課題も多い現状です。また、高齢化により必要となる支援は今後もさらに増えていくと思われます。

このような中、「比較的若い方のニーズにどう対応していくのか？」ということも考えていく必要があります。制度的には、次年度から障害福祉・介護保険事業所間で互いの指定が受けやすくなる仕組みが作られるということです。こういった制度動向も踏まえ、利用者の大きく異なる2つのニーズに今後どう対応していくべきか、問われている現状です。



ご寄贈ありがとうございました。西宮ロータリークラブ

去る2月16日、西宮ロータリークラブ80周年の記念事業として、一羊会にスリーター2台を寄贈いただきました。西宮ロータリークラブの委員の皆様と寄贈事業を通じて新たな出会いができたことや一羊会の取り組みをお伝えできたことに感謝しつつ、今後とも永いお付き合いができれば幸いです。

相談支援事業での活用を主として、いろいろな場面で大切に活用させていただきます。本当にありがとうございました。





## リレーエッセイ

### 白と黒の調和～バランスが大事

書道には「計白当黒」という言葉があります。  
「白を計りて以て黒を当つ」（余白への配慮のもとに  
点画を置いてゆくこと）

つまり、字を描くということは、「黒」によって「白」  
い部分を描き出すこと、とも言えるのです。

白い紙上に字を描くとき、その字の中にある「白」  
の部分は多くの割合を占めます。つまり、「白」の部分  
は字の一部と見做され、重要な要素となります。また、  
「白」の部分は字の中に留まらず、上下左右にある周  
りの字の間にもたくさんあります。一つの作品の中  
でも「白」の役割は大きいのです。

私は字を描くときに、いつも字の形に囚われてしまい、  
「白」の部分への意識が薄れます。一つの作品を描き  
終えた後に全体のバランスを見ると、字の形がよかつ  
たとしても、全体的な調和が取れていないことが多々  
あります。

行動としては筆で「黒」を描いていくので、「白」の  
部分を直接作ることはできません。「黒」による字の

地域生活支援センター「ジョイント」

居宅支援事業課 課長 斯波 幸人

形をイメージしつつ、その字の中にある「白」と上下  
左右にある字との間にある「白」を想像して、バラン  
スを取りながら線を引いていきます。「黒」で字を描  
くということだけでは、一つの字の中でも、周りの字  
との関係でも調和が取れないのです。

私たちがしょうがいのある方に支援をしていく中  
でも「計白当黒」の理論を当てることができると思いま  
す。支援者自身の行動を「字」に置き換えれば、支援  
者の想いだけでは調和が取れないかもしれないこと  
が分かります。

しょうがいのある方を中心にその方に関わるたく  
さんの人がいて、そのそれぞれの人がそれぞれの思いで  
支援をされています。中心にいるしょうがいのある方  
の思いを考えて、他の人と調和がとれるよう行動する  
ことで、しょうがいのある方本人の思いが少しでも実  
現できるような「白」い部分がある支援をしていき  
たいと思います。

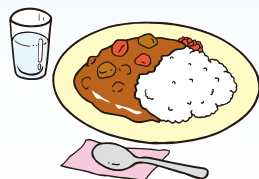


### 「すずかけ夏祭り」を開催！



上甲子園すずかけ作業所が開所して 2 年あまり、今  
回は施設を使ったイベントは 6 回目です。今回もたく  
さんお越しいただきまして、ありがとうございました。

今回は小さいお子さんがいるご近所のファミリーが  
特に多かったです。12:00 前でまさかのカレーが完売  
でした。お隣さん、グルメシ  
ティ・ファミリーマート・ア  
プティムカフェの窓ガラスで  
チラシを見て、見た人がママ  
友で誘い合わせて、通りがかった家族連れの方もいま  
した。



実は毎日施設の前を通過、存在は知っていたが立  
ち寄るきっかけがなくて、カフェに入るのも気が引けて、

という方もいましたので、この地域に「普通に、当  
たり前に」存在して、立ち寄りやすく、自然と利  
用者さん・職員とご近所さんが双方向に交流でき  
るような施設になるように、またイベント企画します！  
次回は 12/2 の予定です。皆様のお越しをお待ちして  
います！



詳細はアプティムカフェのブログで！

<http://blog.goo.ne.jp/aptime1017>

今年度（2017年度）会費・寄付を頂いた皆様です。いつもありがとうございます。

## 法人・事業所御寄付の報告（敬称略・順不同）

2017年4月1日～2017年7月31日

### \*一羊園

一羊園家族会2件 匿名 3件

### \*すずかけ作業所

門脇タケ子 すずかけ作業所保護者会 匿名 3件

### \*すずかけ労働センター

光武眞理 本田洋子 2件

### \*武庫川すずかけ作業所

小林 マサエ 1件

### \*ジョイント

豆柄和利2件 匿名3件 中田智恵海 6件

### \*上甲子園すずかけ作業所

山本加津美 1件

## 一羊会後援会会費（敬称略・順不同）

2017（平成29）年度会費

### \*法人団体の部

一般社団法人 高友福祉積善会 株式会社 新井組 株式会社 前中地所 株式会社 メックテクニカ  
株式会社 岡崎石材店 関西学院中等部生徒一同 平田建築設計株式会社 すずかけ第2作業所保護者会  
社会保険労務士法人 溝口社会保険労務士事務所 日高齒科医院 日本キリスト教団 芦屋山手教会ナルド会  
すずかけ作業所保護者会 YOU、ゆう高木婦人会 神姫産業株式会社 14件

### \*個人の部

上谷幸代 松田 達 前川拓郎 大目修平 井上尚子 馬場光子 山岡敬子 橋本眞理 石田美智子 小椋朝夫  
長部文治郎 大西勝代 片山寛子 大前繁雄 鈴木 侑 黒田輝子 千翔有翔 薮田君子 松岡令子 久保恵津子  
西中薫子 麻生史子 中村栄子 今津八代生 中谷美津子 舛次和子 田中ふみゑ 高士文緒 川上隆弘 吉野千栄子  
本田洋子 宮脇葉子 近藤眞由美 車田光子 岡村英幸 北川泰寿 大前はるよ 斉藤正市 松本憲和 光武眞里  
伊藤節子 藤井圭子 飯森隆年 小川加代子 山本加津美 高木説子 吉田幾久世 松枝千尋 堀江史子 深見秀敏  
宮川 達 佐竹基宏 吉田 高 清水彩里 四方 勝 谷田松子 安田文彦 栗原裕実 横田大輝 齊藤啓史  
日高昭夫 61件

## 一羊会後援会寄付（敬称略・順不同）

2017（平成29）年度寄付

### \*法人団体の部

学校法人 名古屋学院 関西学院中等部生徒一同 一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会 はやなか合同  
社会保険労務士法人 溝口社会保険労務士事務所 5件

### \*個人の部

前川拓郎 大目修平 馬場光子 山岡敬子 水田義一 小椋朝夫  
大西勝代 片山寛子 黒田輝子 小池佳子 高士文緒 宮崎直美  
本田洋子 宮脇葉子 近藤眞由美 匿名 小林義典 寺尾郁子  
中谷美津子 小川加代子 森岡宏夫 神保道禪 吉田幾久世  
太田 博 高瀬直子 25件

一羊会の最新情報、イベントはこちらまで

一羊会ホームページアドレス  
<http://www.ichiyou-kai.or.jp/>



## ●編集後記●

法人広報部からの企画として、今回より事業所紹介をさせていただきました。さて、いよいよ次の号が記念すべき100号となります。振り返ると一羊園だよりから一羊会だよりへ、創刊号から41年、改めて歴史の長さを感じるとともに懐かしい写真や記事もありました。今後も継続して広報部として一羊会だよりをお届けできればと思っています。（中島）